

伊東昌子

Ito Masako

いとうまさこ。長崎県出身。長崎大学医学部卒業後、同大学放射線医学教室へ入局。その後約30年間ほとんど長崎大学病院で勤務。長崎大学病院放射線部准教授、ながさき女性医師の会会長、メディカル・ワークライフバランスセンター長。夫は長崎医療センターの病理医、子ども2人。



医療の仕事をつづけながら 結婚も、出産も

転んでもただでは起きない？ 主婦業期間に英語マスター

長崎大学でいきいきと働く女性教職員にスポットを当てるこのコーナー。今回ご登場いただいたのは、長崎大学病院放射線部の伊東昌子先生。医療のキャリアを積み上げながら、二人のお子さんを育て上げてきました。

「息子と娘、二人とも、もう大人になりました。ただ、私が子育てをしながら仕事を続けられたのは、近くに住む母のおかげなんです。」「医師になる以上、責任をまっとうするのが大切」と、お母様が全面協力してくれたのだそう。伊東先生の専門は放射線診断学ですが、二十年以上前に骨粗鬆症の研究に出会います。

「骨粗鬆症は、骨がスカスカになる病気と思われていますが、実際には骨の質が悪くなるんです。それを、画像を使って解析する。世界でもあまり例がなかったこともあり、評価されて学会の学術賞をいただきました。成果を認められたことで、将来世の中に還元できると実感できました。おだてられると頑張るタイプ(笑)」。

一つ謎を解決しても、その先に疑問が出てくる。それをクリアすると、またその先に謎がある。研究の世界は深く、のめり込みます。同時に、結婚、出産も経験しました。

「実は息子を出産後、一年間仕事を休んでアメリカ留学をする夫について行

きました。最初は嬉しくてね、やっと仕事から解放される！と。でも半年もするうち、家にいる生活が耐えられず、仕事をしたくてたまらない。そんななかで、この機会に英語だけはきっちり身につけようと、ラジオ英会話の教材を持ち込みました。一週間分を一日で自学、外に出て、いくつフレーズを使えるか。転んでもただでは起きないとよく言われます(笑)。ただ、その後、帰国して現場に復帰するときはさすがに怖かったですね。とっさに

病名が出て来なくなったり：医療の進歩の中では三年以上のブランクは大きいと言われますが、私は一年が限界でした。女性のライフサイクルの中で、結婚、出産という山場をどう乗り越えていくかは、大きな課題。仕事を続けるには、それが不安で…という後輩たちの声も聞こえてきます。



マラソンレースにも参加するほどの市民ランナーでもあるご主人の後を追うように、週末に走り始めた伊東先生。「走り終えた後の爽快感が何とも言えません。研究が一つの形になる達成感と同じ。さらに遠くまで走りたくなることも、よく似てるんですよ」と、弾んだ声で教えてくださいました。

「かつて私も、仕事を限界まで抱え込み、もう辞めたい！骨の研究もこれ以上続けられない！と思いつめたことがありました。でもその時に夫が、『伊東昌子から骨の研究をとったら何も残らないよ』と。確かに、ここで辞めたら私でなくなる。思いとどまりました」

「大学の一年先輩で、患者さんへの接

し方とかチームでの動き方を見ると、すごく気の付く優しい人。この人なら…と結婚を決めました。仕事と同じというの大きい。彼が研究に没頭しているのを見ると、羨ましくしてしまうのですが、嫉妬するより教えてもらおう、と。研究論文を書くためにはまとまった時間が必要。お盆や年末年始は、夫と二人、終日パソコンに向かっていきます。お正月の支度がまったくできなくても、何も言われませんよ」。

志が同じパートナー、そんな人めっ

「いえいえ、最近の男子学生は、私たちが学生のころと比べるとずいぶん変わってきました。学部にも女性の割合が増えたことで女性のことを理解し、仕事のパートナーとして認めているんじゃないかしら。だから私も、後輩の学生たちには、結婚と仕事の両立も、一生懸命やっていければ何とかなるもんよ、と言っています」

医師不足解決の秘策は ワークライフバランス

今、注目をされているのが、四月に立ち上がる「メディカル・ワークライフバランスセンター」。医療人の就労維持支援、次世代の医療を担う医療人の育成支援を行い、医療人がやりがいを持って働ける職場環境づくりを目指しています。先生はそのセンター長に就任しました。

「今、医師は人手不足でみんな疲れています。でも、女性医師が仕事と家庭の両方を高め合いながら、いいライフサイクルの中で働き続けられれば、状況は改善されるでしょう。そのためにも少しでもお手伝いできればいいですね。ニコニコと笑顔をたやさない小柄な伊東先生。そのパワーの源は、キャリアを重ねることで自然に身についた心の体力と、素敵なパートナーの存在でしょうか。

前を歩く先輩が堂々としていると、その道は輝いて見えます。

働くウーマン奮戦記 大学は わたしの 仕事場 ②

長崎大学で働く女性教職員の活躍ぶりを毎回お一人ずつ紹介します。ステキな先輩たちの後ろ姿を見て女子学生も何かを感じて欲しい。そんな願いをこめた新コーナーです！